

6RS400030

LM-15

レベル測定器
取扱説明書

Ver.1.2

大井電気株式会社



本測定器を安全にお使いいただくために必ずお守り下さい

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

ご使用になる前によくお読みの上、正しくお使い下さい。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

・本商品の故障、誤動作、不具合などによって生じた損害等の
純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いか
ねますので、あらかじめご了承下さい。

・本商品を分解したり改造したりする事は、絶対に行わないで
下さい。



(1)本器は表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい
火災、感電、故障の原因となります。

(2)万一部品や電池を飲み込んだ場合、直ちに医師と相談して下
さい。

置き場所・保管上の注意



注意

本商品を次のような場所に設置、保管しますと故障・誤動作の原因となります。

- (1)直射日光の当たる所や、暖房器具のそばなど、温度の高い所に置かないで下さい。
内部温度が上がり、故障の原因となる事があります。
- (2)水、油、薬品などの液体がかかるような場所、湯気の当たる場所や加湿器のそばなどの湿度の高い場所、ほこりの多い場所に置かないで下さい。
- (3)テレビ、ラジオ、無線機などの磁気が発生している所や違法無線を受ける所には置かないで下さい。
また、そのようなものを近づけないで下さい。
本装置が正常に動作しない事があります。
- (4)装置本体をベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対に拭かないで下さい。
変色や変形の原因になります。
汚れがひどい時は薄めた中性洗剤を布に付けよく絞ってから拭いて、その後乾いた柔らかい布で拭き取って下さい。

ご使用上の注意



注意

本商品を次のような使用をしますと故障・不具合の原因となります。

- (1)電池交換の際には乾電池の極性を正しく合わせて下さい。
また、長時間使用しない時は、本体から電池を外して下さい。
電池の液漏れによる故障の原因となります。
使用しない時は必ず電源スイッチをOFFにしておいて下さい。
- (2)電話網等の直流が重畳されている回線でのV_m測定は、別売りのRC-101を使用して下さい。

〔品質保証〕

このたびは、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。
本製品の無償保証期間は御納入から1年とさせていただきますが、落下による破損や規格以上の過大入力による障害等取扱方法に起因する修理につきましては、有償とさせていただきます。
修理のお問い合わせは、お求めになった販売代理店または当社営業までご連絡下さい。

1. 概要

本器は主として音声周波数を使用した通信機器の調整・試験・保守用に使用いただけるように設計したフラットレベル計です。

主電源を乾電池としてありますので、屋外での線路測定・無人局での調整・試験に最適です。また測定周波数を広くとっておりますので、鉄道・交通信号等の保守用にもご利用いただけます。

2. 規格

周波数範囲	40Hz～20kHz
レベル測定範囲	-60dbm～+30dBm
入力インピーダンス	600Ω 及びHIGH (10kΩ 以上)平衡/不平衡
周波数特性	±0.5dB以内 (1kHzを基準)
レベル測定誤差	±0.5dB以内 (1kHzにて0dBmを基準)
温度特性	±0.5dB以内 (20°Cを基準)
電源電圧変動	±0.5dB以内 (9Vを基準)
使用温度範囲	0°C～40°C
電源	乾電池006P(9V)1個
寸法・重量	W210×H140×D110m/m 約2.5kg

3. 付属品

測定コード	PWT-113(M1PS-I214APS 2m)	1本
乾電池	006P(9V)	1本
ケース	PC-903(ソフトケース)	1個
取扱説明書		1部

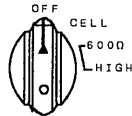
4. 測定方法および取扱上の注意事項

(1) 測定方法

(a) 電源電圧のチェックと入力レベルゲインの設定

下図スイッチをCELLにして、メータがグリーンゾーンを指示する事を確認して下さい。

電池電圧が7V~10Vの範囲の時グリーンゾーン内を指示します。グリーンゾーンに達しない時は電池を交換して下さい。



電池電圧のチェックが済んだら被測定計の状態に合わせて入力レベルゲインを設定して下さい。

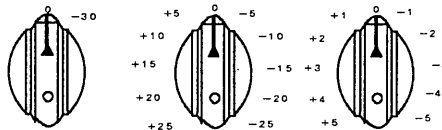
600Ω : オフライン (受信装置が接続されていない状態)測定時

HIGH : オンライン (受信装置が接続されている状態)測定時

(b) 測定レベルの調整

下図アッテネータを予想される入力レベルに合わせて下さい。

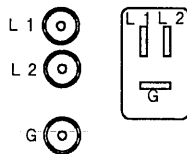
メータが振り切れるとメータ自体の性能が劣化しますので、振り切れないように注意して下さい。



(c) 信号の接続

下図の入力端子に信号を接続して下さい。

入力端子は2種類ありますが、内部で並列に接続されていますので注意して下さい。



(d)レベルの測定

メータが最も0dBに近づくように前記、アッテネータを再調整して下さい。
測定値は3つのアッテネータとメータ読取り値の合計となります。

(2)注意事項



注意

- ・使用しない時はOFFにしておいて下さい。また、長時間使用しない時は乾電池を外しておいて下さい。
- ・入力レベルゲインの設定を間違えると回線(装置)に悪影響を与える事があります。
- ・メータを長時間振り切れたままの状態で放置しないで下さい。
また、+30dBm以上の信号を入力しないで下さい。
- ・低レベルの測定時は必ずアース端子を接続して下さい。